

Domaine Gérald Talmard (ドメーヌ ジェラルド・タルマー)

Gérald Talmard



タルマ一家は、マコネーの地で17世紀から代々葡萄栽培とワイン造りに携わってきた一族です。

1997年にスタートした現在のドメーヌは、ウシジ村に30haを所有し、石灰岩粘土質の土壤でこの地の最高品種であるシャルドネを育てています。

この地域の他生産者との大きな違いは、ブドウの果実が深く豊かに完熟する前に少し早く収穫することです。

これにより、より明るく新鮮なスタイルのワインが出来上がります。

醸造では、全てのワインで天然酵母を使用して発酵。SO2も天然の採石 SO2のみを使用しています。

また、2010年以降はよりサステナブルな栽培と生産の最適化に向けた取り組みをスタートさせました。

2013年からは、HVE(High Environmental Value)の認定を受けたドメーヌとなっています。

